

2007年3月期

決算短信添付資料（決算説明会資料）



## 当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

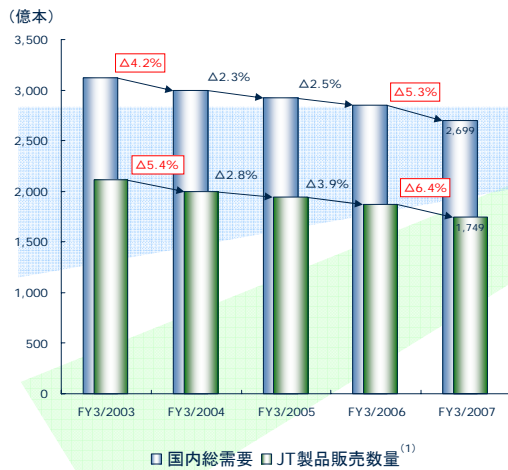


## 事業別概況と今後の課題

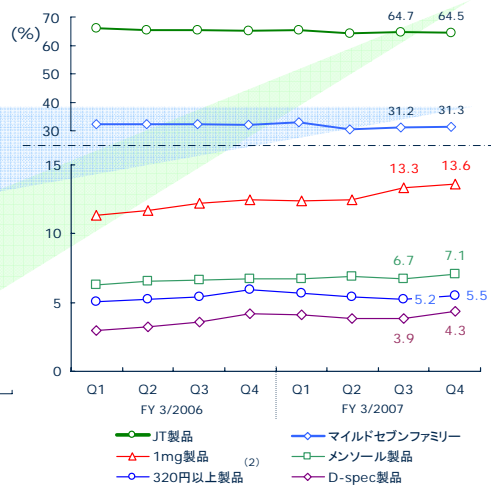


## 事業別概況と今後の課題（国内たばこ事業）

### 販売数量実績



### JT製品の市場シェア<sup>(1)</sup>



(1) 新ベース=JTオリジナルブランド + JT1の国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)  
 (2) 2006年6月までは300円以上製品

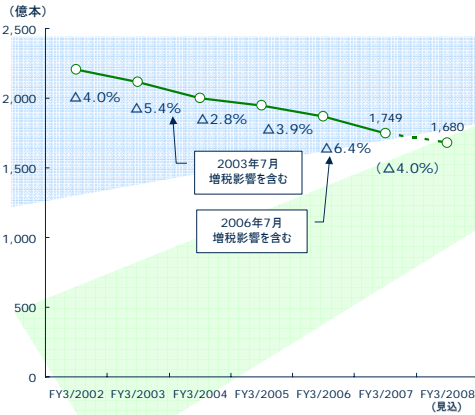


## 事業別概況と今後の課題（国内たばこ事業）

### ■ JT製品販売数量見込み\*

総需要の趨勢減が続く中、販売数量の減少を最小限に

### ■ マイルドセブンのブランド価値向上



- ◆ 発売30周年に合わせ、積極的なブランドエクイティ強化施策を実施
- ◆ ファミリー内ポートフォリオの強化等、No.1ブランドとしての地位をより強固なものに

### ■ ブランド戦略、エリア・チャネル戦略の融合に向けた組織改正



果敢な市場攻略による  
マイルドセブン・ファミリーシェアの向上

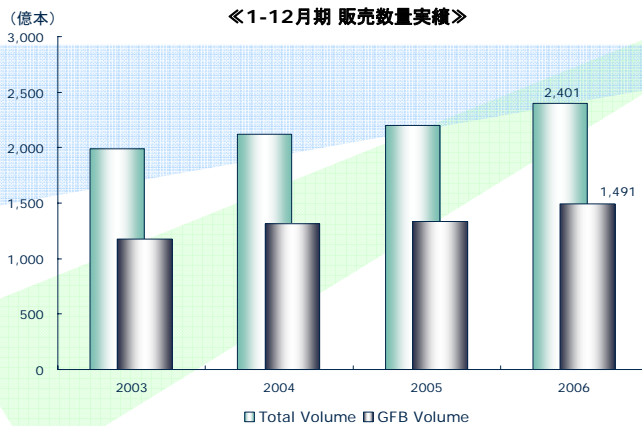
\*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウインストン・セラム等)



## 事業別概況と今後の課題（海外たばこ事業）

### ■ バランスのとれた力強い継続的数量成長

### ■ Global Flagship Brands (GFB)は総販売数量の62%を占める



## 事業別概況と今後の課題（海外たばこ事業）

### 事業統合方針

- 本社機能の統合（シングルカンパニー、シングルマネージメント）
- 迅速性を意識 – 統合計画を8月を目処に策定
- 既存業務の円滑なオペレーション
- マーケット重視の姿勢を継続
- シナジーの早期発現

7



## 事業別概況と今後の課題（医薬事業）

- 開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を推進

臨床開発品目（2007年4月27日現在）

開発名	適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質代謝異常	国内:Phase1
JTT-130(経口)	高脂血症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質代謝異常	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2 海外:Phase1
JTT-551(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1 海外:Phase1
JTT-552(経口)	高尿酸血症	国内:Phase1

2006年4月:

前臨床試験段階の新規化合物をグラクソ・スミスクライン社に導出

2006年11月:

東レ創製の止痒薬「TRK-820」について、東レが新薬承認申請を行う（JT、鳥居薬品との間に共同開発・販売権契約）

2006年12月:

前臨床試験段階の抗体医薬候補品をメディムーン社に導出

ステージアップ（3品目）

海外臨床試験開始（2品目）

新規臨床試験開始（1品目）

8



## 事業別概況と今後の課題（食品事業）

※ 飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力し、競争優位性の確立に努める

◆ 飲料事業：（株）ジャパンビバレッジを中心とした着実な拡大基幹ブランド「ルーツ」を中心に、36銘柄を投入



ルーツ「アロマブラック」

◆ 加工食品事業：市販用冷凍食品「お弁当大人気！」シリーズ、「いまどき和膳」シリーズを中心に22銘柄を投入



「お弁当大人気！」シリーズ「ミニ春巻き」



「いまどき和膳」シリーズ「れんこんはさみ揚げ」

◆ 調味料事業：当社独自の技術を活用した高核酸酵母エキス等の天然調味料の拡大



## 「JT2008」期間中の株主還元

### 株主還元

中長期的な成長戦略の実施状況や連結業績見通しを踏まえつつ、資本市場における競争力ある株主還元を目指すことを基本方針とし、当面、連結配当性向\*20%を目指し、配当水準の向上を図る。

\*2009年3月期以降、想定されるのれん代の償却については、その影響を除く

- ◆ 2007年3月期の1株当たり配当金：中間 1,800円、期末 2,200円
- ◆ 2008年3月期の1株当たり配当金（見込）：中間 2,200円、期末 2,200円



\*2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2006年3月期以前の実績は遡及して修正

## 役員報酬制度の見直し

### ■ 企業価値向上に資する報酬制度を導入

- ◆ 業績達成、株主価値増大へのインセンティブを付与
  - ◆ 取締役(執行役員を兼務): 基本報酬 + 年次賞与 + 株式報酬型ストックオプション
  - ◆ 取締役(執行役員を兼務せず): 基本報酬 + 株式報酬型ストックオプション
  - ◆ 監査役: 基本報酬

### ■ ストックオプションの内容

- ◆ 新株予約権の総数: 800個
- ◆ 行使期間: 割当日の翌日から30年以内
- ◆ 行使条件: 取締役退任後
- ◆ 譲渡制限: 取締役会の承認が必要

### ■ 退職慰労金制度の廃止

本年6月の定時株主総会において、上記見直しを諮る予定

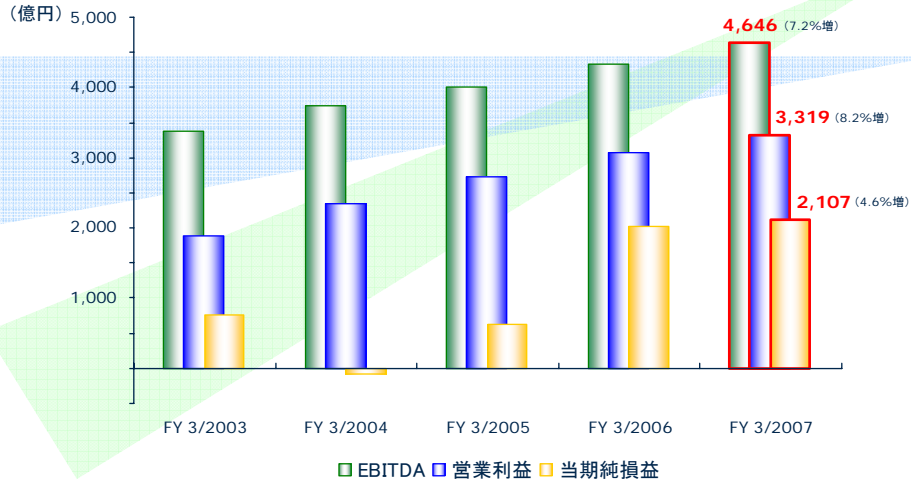
## 財務実績概要

## 2007年3月期 実績

### ■ 業績ハイライト

EBITDA、営業利益、経常利益、当期純利益は最高益を更新

EBITDA、営業利益、経常利益は6期連続の増益



13



## 2007年3月期実績

### ■ 国内たばこ事業

販売数量の減少を、販売単価の上昇・コスト減等により克服し、増益を確保

(単位: 億円)

	2006年3月期	2007年3月期	増減
税抜売上高	11,732	11,472	△ 260 (2.2%減)
EBITDA	3,057	3,264	207 (6.8%増)
営業利益	2,200	2,453	252 (11.5%増)

(単位: 億本)

JT製品販売数量	1,894	1,749	△ 145 (7.7%減)
----------	-------	-------	------------------

### ■ 海外たばこ事業

トップライン成長の継続により、EBITDAは17.8%成長、10億ドルの大台を突破

(単位: 億円)

	2006年3月期	2007年3月期	増減
税抜売上高	4,843	5,503	660 (13.6%増)
EBITDA	940	1,126	185 (19.7%増)
営業利益	710	810	100 (14.2%増)

円ドルレート(円)	110.26	116.38	6.12
-----------	--------	--------	------

(参考) JTへのロイヤリティ支払い前 (単位: 百万USドル)

EBITDA※	925	1,090	164 (17.8%増)
---------	-----	-------	-----------------

※比較可能ベース: 日本市場移行影響を除く

14



## 2007年3月期実績

### ■ 医薬事業

研究開発費の増、鳥居薬品の減益等により、減益

### ■ 食品事業

堅調に増収・増益

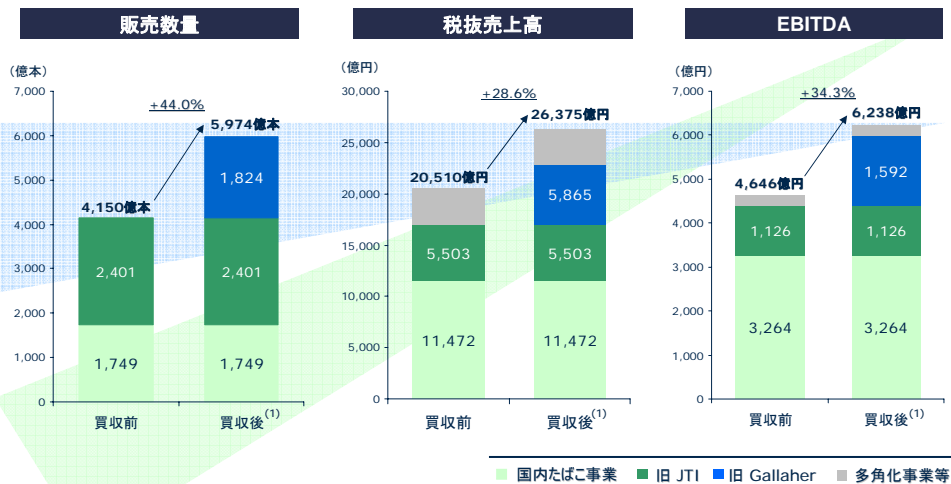
(単位:億円)

	2006年3月期	2007年3月期	増減
売上高	492	454	△ 38 (7.7%減)
EBITDA	△ 18	△ 81	△ 63 -
営業利益	△ 50	△ 112	△ 61 -

(単位:億円)

	2006年3月期	2007年3月期	増減
売上高	2,783	2,865	81 (2.9%増)
EBITDA	118	120	1 (1.3%増)
営業利益	63	67	3 (6.0%増)

## Gallaher社買収後の財務プロフィール



出所: 各社公表資料。  
 注: 為替レートは214.53¥/£ (2006年期中平均レート)  
 (1) 買収後計数は、JT (2007年3月期実績) と Gallaher (2006年12月期実績) の単純合算ベース



## Gallaher社買収に伴う資金調達について

### ■ 買収総額: 約75億ポンド (約1兆7,200億円)

純有利子負債を含めた買収総額: 約94.4億ポンド (約2兆1,800億円)

### ■ 資金調達: ブリッジローンの詳細

#### ◆ JTによる借入

- ✓ 借入先: 株式会社みずほ銀行
- ✓ 借入金額: 4,500億円
- ✓ 返済条件: 元金一括返済
- ✓ 約定金利: 0.80%及び0.84%
- ✓ 借入実行日: 2007年4月25日
- ✓ 借入期間: 1ヶ月及び3ヶ月

#### ◆ JTI (UK) Management Ltdによる借入

- ✓ 借入先: Merrill Lynch International 及びメリルリンチ日本証券株式会社をアレンジャー、株式会社三菱東京UFJ銀行をエーエージェントとする18銀行によるシンジケート団
- ✓ 借入金額: 19.0億ポンド
- ✓ 返済条件: 元金一括返済
- ✓ 約定金利: LIBOR + 0.1375%
- ✓ 借入実行日: 2007年4月26日
- ✓ 借入期間: 2ヶ月

### ■ 本買収による格付けの変化

- ◆ S&P: AA<sup>-</sup> -> A<sup>+</sup>
- ◆ Moody's: Aa2 -> Aa3

17



## 2008年3月期業績予想



## 2008年3月期 業績予想

### 国内たばこ事業

定価改定による販売単価の上昇効果があるものの、販売数量の減少、原材料費・販促費の増加等により減益

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
税込売上高	34,162	33,980	△ 182 (0.5%減)
EBITDA	3,264	3,000	△ 264 (8.1%減)
営業利益	2,453	2,130	△ 323 (13.2%減)

【主な前提条件】

(単位: 億本)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
JT製品販売数量	1,749	1,680	△ 69 (4.0%減)

### 海外たばこ事業

自律的成長による、10%台半ばのEBITDA成長の継続を目指す

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
税込売上高	9,996	11,300	1,303 (13.0%増)
EBITDA	1,126	1,270	143 (12.7%増)
営業利益	810	960	149 (18.4%増)

(参考)

(単位: 百万USD)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)	1,090	1,250	160 (14.7%増)

【主な前提条件】

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
総販売数量(億本)	2,401	2,580	179 (7.5%増)
GFB 販売数量(億本)	1,491	1,620	129 (8.6%増)
円ドルレート(円/USD)	116.38	115.00	△ 1.38

(注1) 海外たばこ事業は2007年1-12月期の見込

(注2) 2008年3月期の業績予想は、Gallaher社分を繰り込まない数値

## 2008年3月期 業績予想

### 医薬事業

鳥居薬品は増益見込みであるものの、研究開発費の増、ピラセプトロイヤリティの減等により、減益の見込み

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
売上高	454	440	△ 14 (3.2%減)
EBITDA	△ 81	△ 115	△ 33 -
営業利益	△ 112	△ 150	△ 37 -

### 食品事業

飲料事業、加工食品事業の順調な拡大により、増益の見込み

(単位: 億円)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
売上高	2,865	2,980	114 (4.0%増)
EBITDA	120	125	4 (4.0%増)
営業利益	67	80	12 (19.3%増)

## 2008年3月期 業績予想

### ■ 連結業績予想

海外たばこ事業の自律的利益成長等を見込むものの、国内たばこ事業における販売数量の減少、原材料費・販促費の増加等により、減益を見込む

(単位:億円)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 見込	増減
税込売上高	47,693	48,900	1,206 (2.5%増)
EBITDA	4,646	4,490	△ 156 (3.4%減)
営業利益	3,319	3,120	△ 199 (6.0%減)
経常利益	3,120	2,820	△ 300 (9.6%減)
当期純利益	2,107	1,860	△ 247 (11.8%減)
ROE(%)	11.3	9.3	△ 2.0pt
FCF	2,230	△ 15,530	△ 17,760

(注) 2008年3月期の連結業績予想は、Gallaher社分を織り込まない数値(資金調達に関連する費用は織り込み済)

(このスライドは空白です)

## 【参考資料】

### 2007年3月期実績および 2007年3月期業績予想における増減要因の分析



## 当資料取扱上の注意点

### 将来に関する記述等についてのご注意

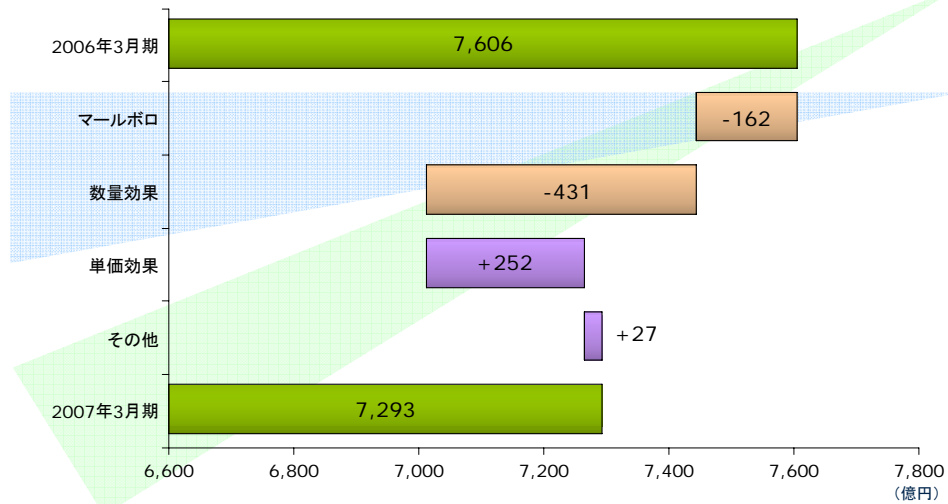
本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げる事ができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動



## 2007年3月期 実績

### 国内たばこ事業 税抜売上高（輸入たばこを除く）

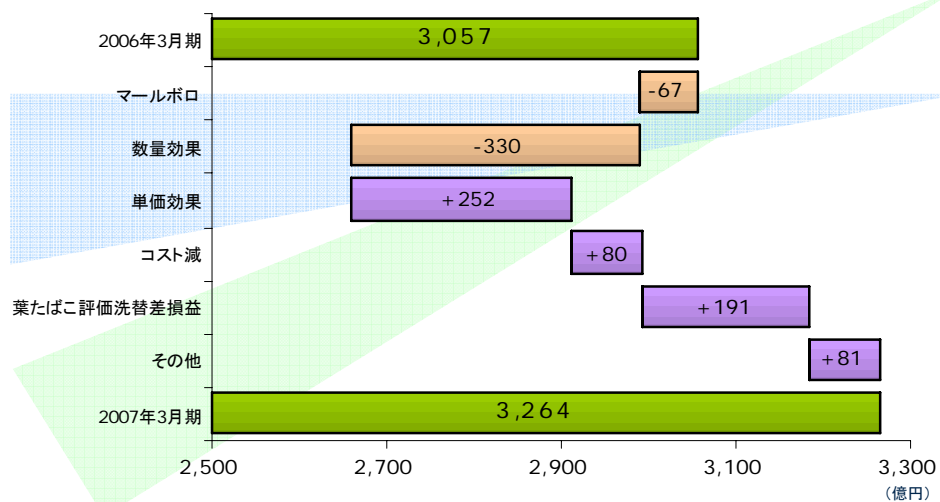


25



## 2007年3月期 実績

### 国内たばこ事業 EBITDA

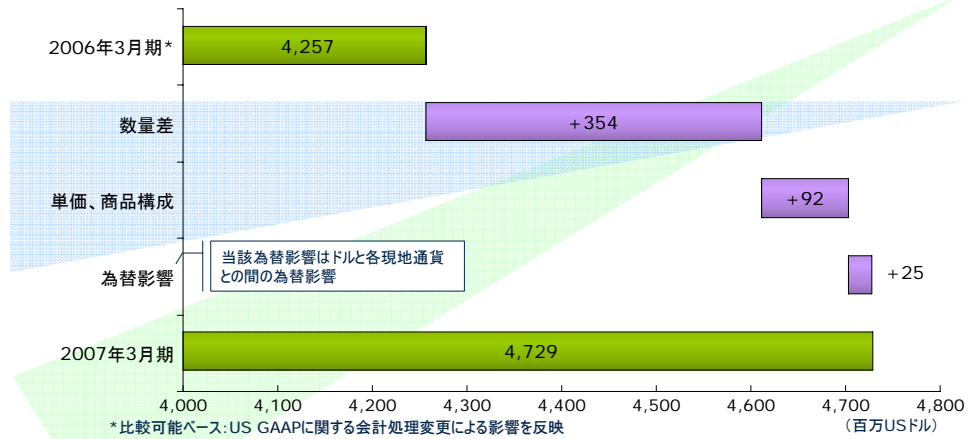


26



## 2007年3月期 実績

### ■ 海外たばこ事業 税抜売上高



(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業税抜売上高 4,843億円 → 5,503億円 (660億円増)

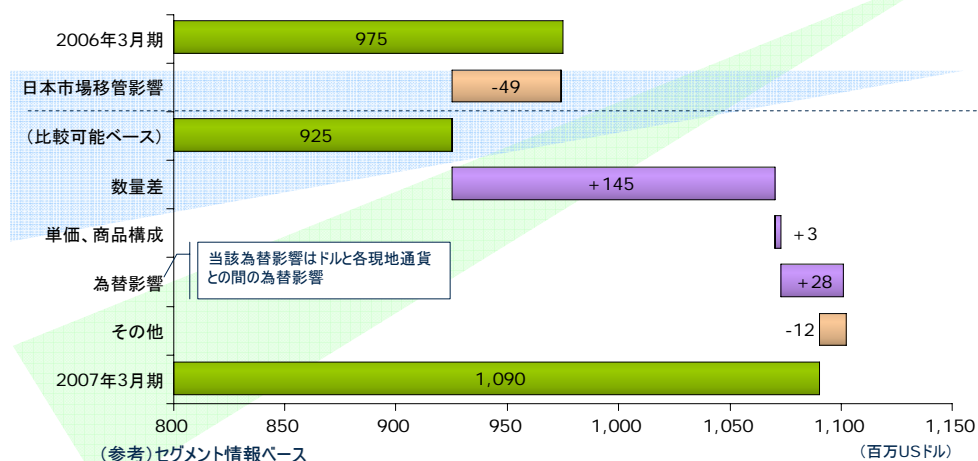
27



## 2007年3月期 実績

### ■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

比較可能ベース: 925 百万ドル ⇒ 1,090 百万ドル (対前年+17.8%増)

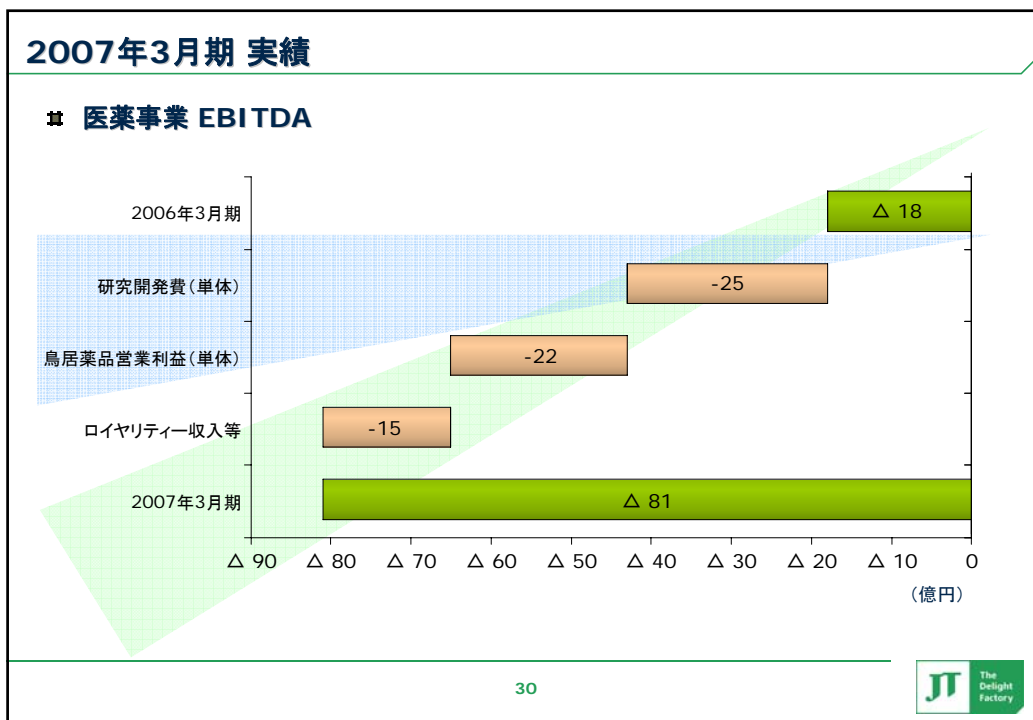
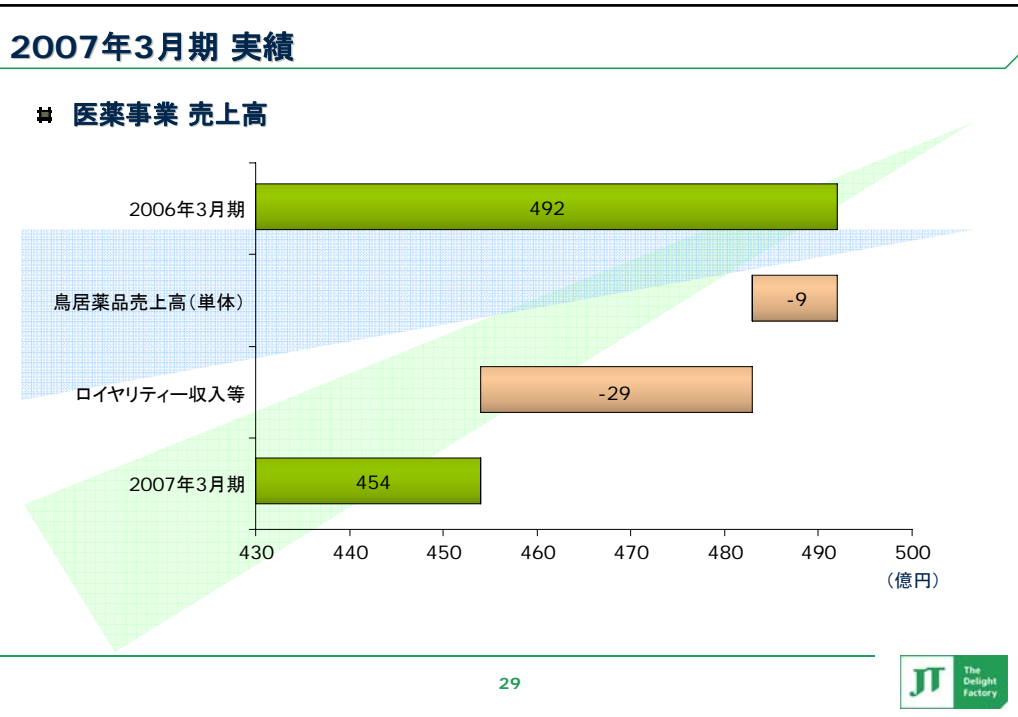


(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 940億円 → 1,126億円 (185億円増)

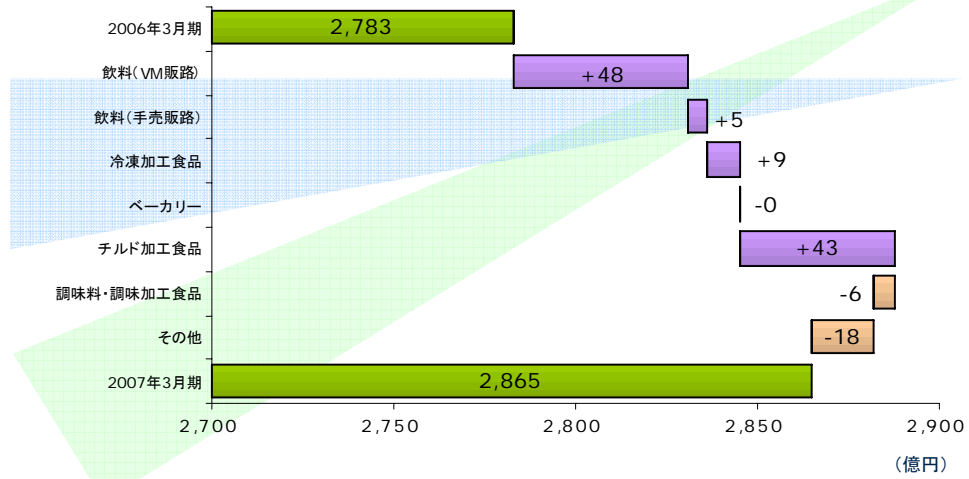
28





## 2007年3月期 実績

### ■ 食品事業 売上高

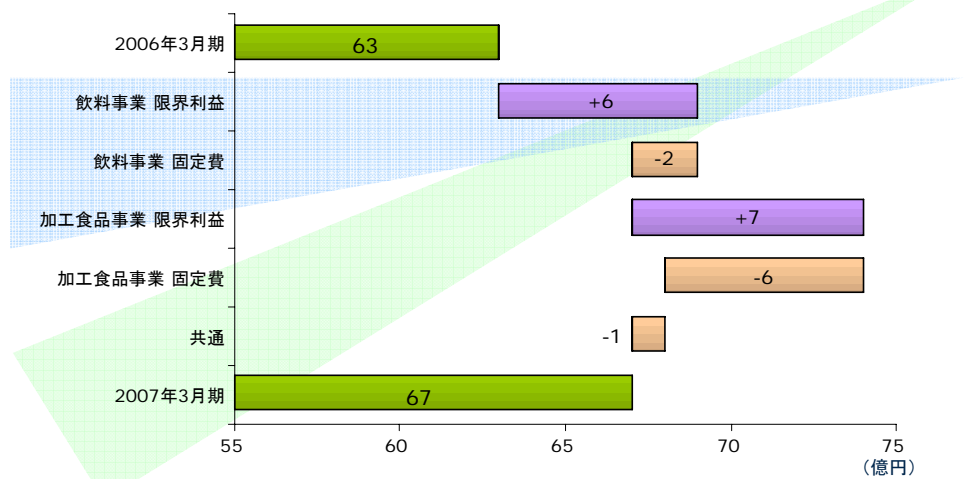


31



## 2007年3月期 実績

### ■ 食品事業 営業利益



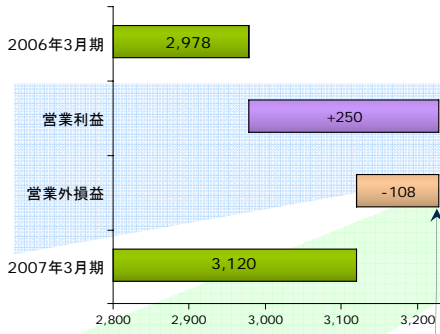
32





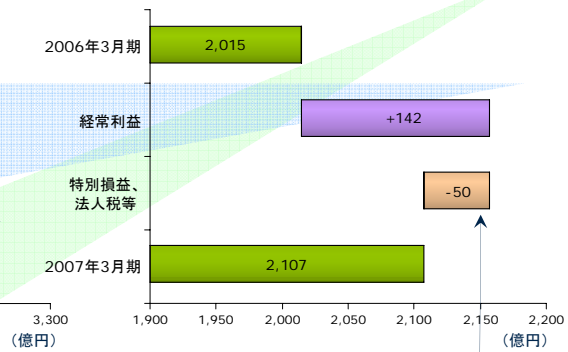
## 2007年3月期 実績

### ■ 経常利益



**改善要因:** 受取利息の増: 60億円 等  
**悪化要因:** 為替差損の増: 115億円  
 たばこ災害援助金の増: 26億円  
 支払利息の増: 11億円 等

### ■ 当期純利益

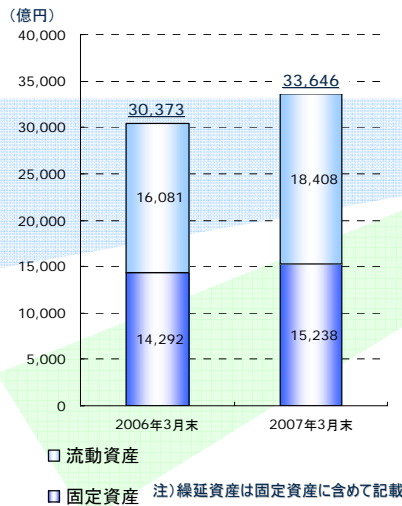


**改善要因:** 固定資産売却損の減: 217億円  
 減損損失の減: 87億円  
 事業構造強化費用の減: 80億円  
 固定資産除却損の減: 18億円 等  
**悪化要因:** 法人税等の増: 265億円  
 固定資産売却益の減: 125億円  
 成人識別自販機導入費用の増: 55億円 等

(このスライドは空白です)

## 2007年3月期 連結貸借対照表のポイント

### ■ 資産の部



2006年3月末との比較 ( )内は主な要因

#### ■ 流動資産は2,326億円増加

◆ 手元流動性\*の増加 +2,060億円  
\*手元流動性=現金+有価証券+現先

◆ 営業債権\*の増加 +152億円  
\*営業債権=受取手形及び売掛金

#### ■ 固定資産は946億円増加

◆ 設備投資による増加 +1,021億円

◆ 減価償却\*による減少 △1,326億円  
\*減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

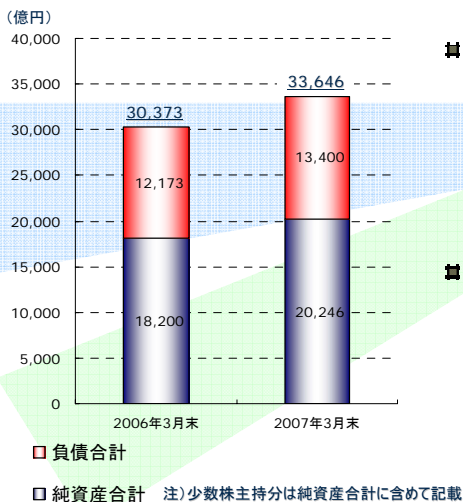
◆ 投資有価証券の増(Gallaher社株式の市場取得) +1,545億円

35



## 2007年3月期 連結貸借対照表のポイント

### ■ 負債・純資産の部



2006年3月末との比較 ( )内は主な要因

#### ■ 負債合計は1,227億円増加

◆ 有利子負債\*の増加 +26億円  
\*有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

◆ 未払たばこ税等\*の増加(期末日休日) +1,617億円  
\*未払たばこ税等=未払たばこ税+未払たばこ特別税+未払地方たばこ税

#### ■ 純資産合計は2,045億円増加

◆ 利益剰余金の増加 +1,858億円

◆ 少数株主持分の増加 +68億円

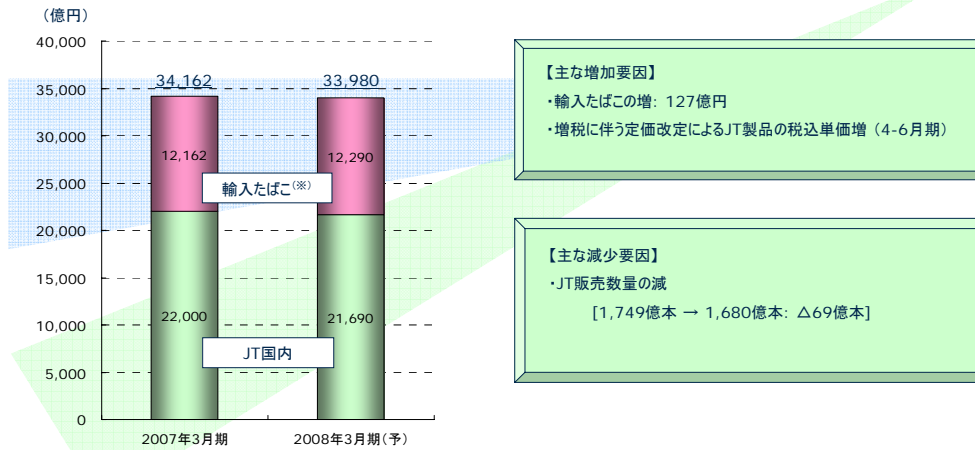
➢ 自己資本比率 58.0% → 58.3%

36



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 税込売上高



**【主な増加要因】**  
 ・輸入たばこの増: 127億円  
 ・増税に伴う定価改定によるJT製品の税込単価増(4-6月期)

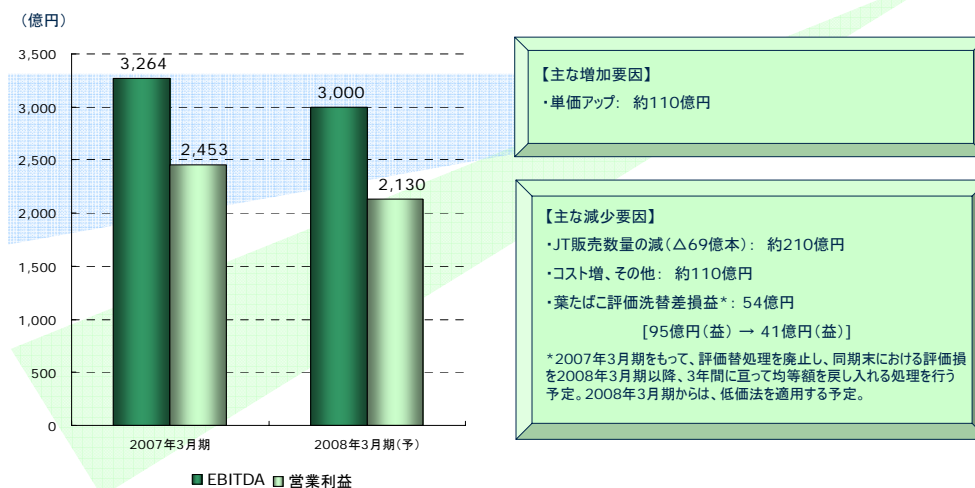
**【主な減少要因】**  
 ・JT販売数量の減  
 [1,749億本 → 1,680億本: Δ69億本]

※ 連結決算上、国内たばこ事業売上高には、子会社であるTSネットワーク(株)が取り扱う輸入たばこ製品の売上高を含んでいる。



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### 国内たばこ事業 EBITDA / 営業利益



**【主な増加要因】**  
 ・単価アップ: 約110億円

**【主な減少要因】**  
 ・JT販売数量の減(Δ69億本): 約210億円  
 ・コスト増、その他: 約110億円  
 ・葉たばこ評価洗替差損益\*: 54億円  
 [95億円(益) → 41億円(益)]

\* 2007年3月期をもって、評価替処理を廃止し、同期末における評価損を2008年3月期以降、3年間に亘って均等額を戻し入れる処理を行う予定。2008年3月期からは、低価法を適用する予定。

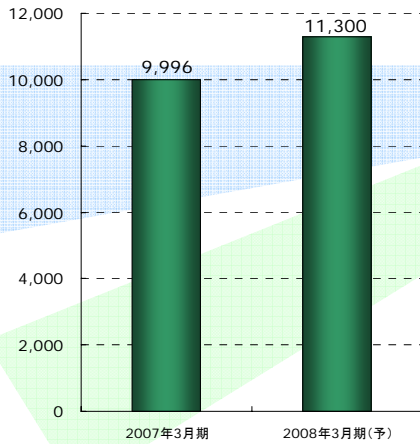
■ EBITDA □ 営業利益



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 税込売上高

(億円)



#### 【主な増加要因】

成熟・新興双方市場でのバランスの取れた成長

(参考) 連結円ドルレート 116.38円 → 115.00円 (1.38円高)

(注1) 海外たばこ事業は2007年1-12月期の見込

(注2) 2008年3月期の業績予想は、Gallaher社分を繰り込まない数値

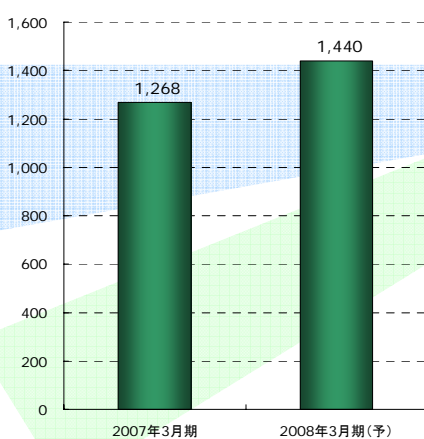
39



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティー支払前)

(億円)



#### 【主な増加要因】

・GFBへの注力とブランド・ポートフォリオの拡充による、中核市場でのトップライン成長

(参考)セグメント情報ベース

海外たばこ事業EBITDA 1,126億円 → 1,270億円 (143億円増)

海外たばこ事業営業利益 810億円 → 960億円 (149億円増)

連結円ドルレート 116.38円 → 115.00円 (1.38円高)

(注1) 海外たばこ事業は2007年1-12月期の見込

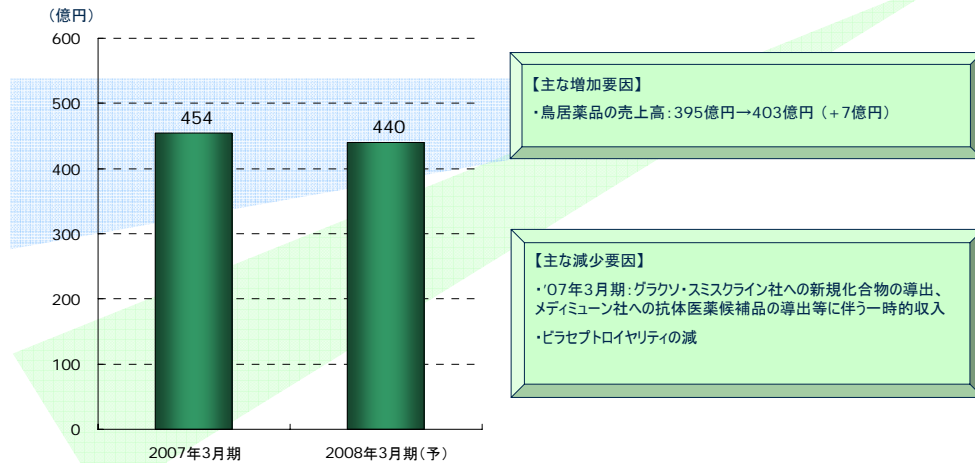
(注2) 2008年3月期の業績予想は、Gallaher社分を繰り込まない数値

40



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 売上高

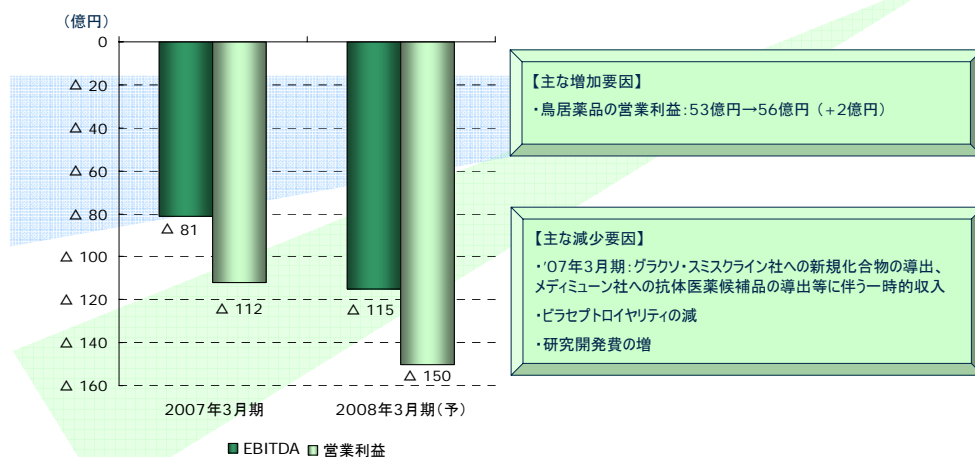


41



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 医薬事業 EBITDA / 営業利益

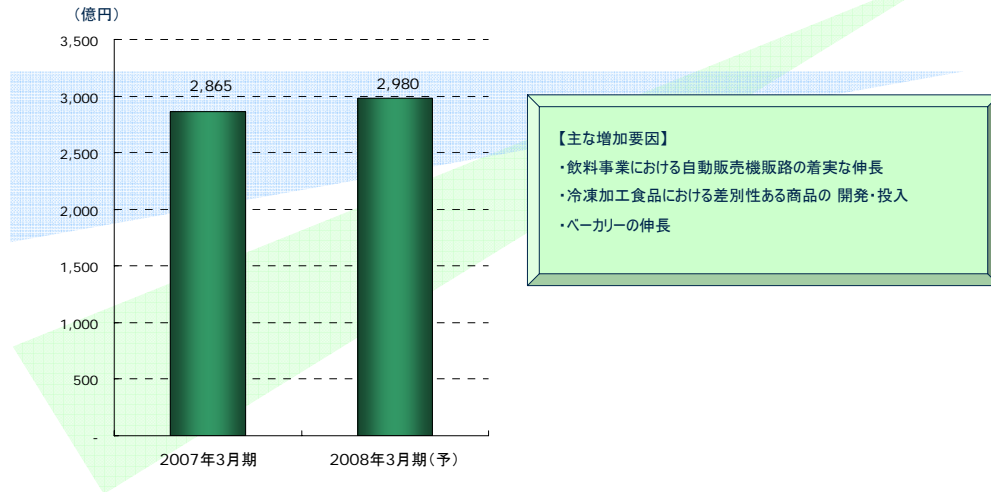


42



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 食品事業 売上高

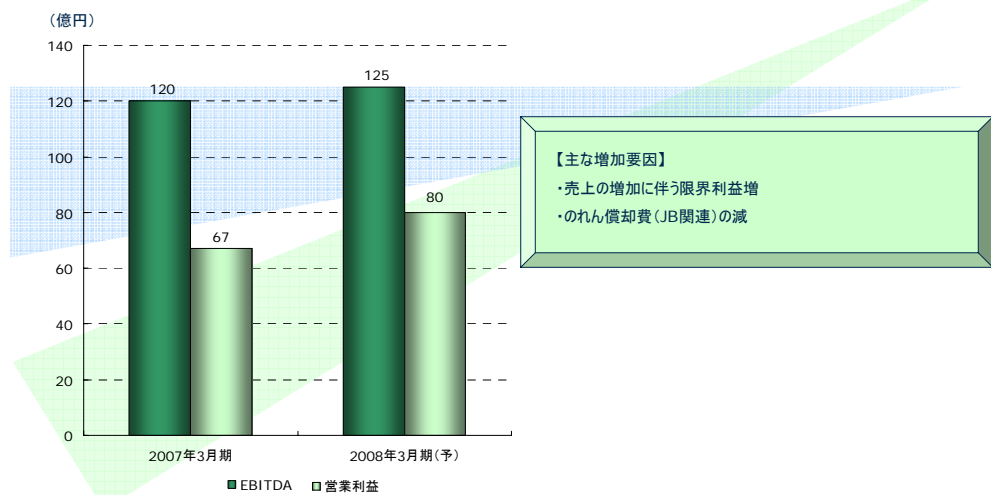


43



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

### ■ 食品事業 EBITDA / 営業利益

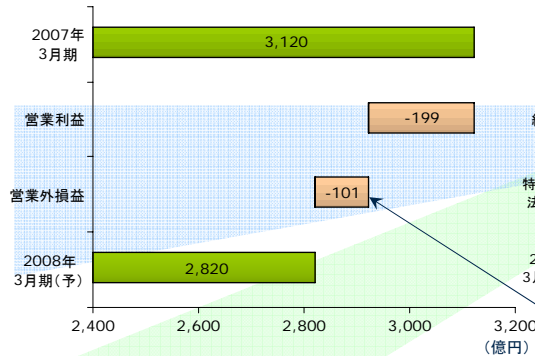


44



## 2008年3月期 業績予想\_対前年度実績

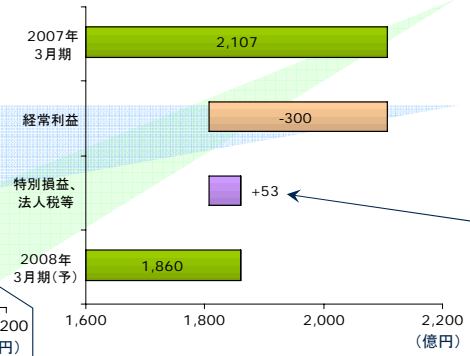
### 経常利益



**改善要因:** Gallaher社の買取に関連した為替ヘッジ、ブリッジローン組成費用の減少 等

**悪化要因:** Gallaher社の買取に関連した支払利息の増加、受取利息の減少 等

### 当期純利益



**改善要因:** 法人税等の減少 等

**悪化要因:** 固定資産除売却損益の減少  
成人識別自販機導入費用の増加 等

(注) 2008年3月期の連結業績予想は、Gallaher社分を織り込まない数値 (資金調達に関連する費用は織り込み済)

2007年3月期 決算データ集 (1)

1. 売上高の内訳

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	増減
全社税込売上高	46,376	47,693	1,317
国内たばこ事業	34,052	34,162	109
除く輸入たばこ	22,445	22,000	△ 445
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	8,811	9,996	1,184
全社税抜売上高(除く輸入たばこ)	15,961	16,331	370
国内たばこ事業	7,606	7,293	△ 312
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	4,843	5,503	660
医薬事業	492	454	△ 38
食品事業	2,783	2,865	81
飲料事業	1,853	1,907	54
加工食品事業	930	957	27
その他事業	235	214	△ 21

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

2. 葉たばこ評価洗替差損益<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	増減
葉たばこ評価洗替差損益	95	△ 95	△ 191

(注): マイナス表示の場合は評価益

3. 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	増減
販売費及び一般管理費	5,966	5,926	△ 40
人件費 <sup>(注)</sup>	1,508	1,585	77
広告宣伝費	239	234	△ 4
販売促進費	1,421	1,280	△ 140
研究開発費	375	412	37
減価償却費	534	574	39
その他	1,887	1,838	△ 48

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

4. 事業セグメント別EBITDA<sup>(注1)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	増減
全社EBITDA	4,333	4,646	312
営業利益	3,069	3,319	250
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	1,264	1,326	61
国内たばこ事業EBITDA	3,057	3,264	207
営業利益	2,200	2,453	252
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	856	810	△ 45
海外たばこ事業EBITDA <sup>(注3)</sup>	940	1,126	185
営業利益	710	810	100
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	230	315	85
医薬事業EBITDA	△ 18	△ 81	△ 63
営業利益	△ 50	△ 112	△ 61
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	32	30	△ 2
食品事業EBITDA	118	120	1
営業利益	63	67	3
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	55	53	△ 2
その他事業EBITDA	221	215	△ 5
営業利益	86	93	6
減価償却費 <sup>(注2)</sup>	134	122	△ 12
(参考)			(単位: 百万ドル)
海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	975	1,090	115

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費<sup>(注2)</sup>

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

5. 主要投資案件の諸償却費

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	償却年数	終了
JTインターナショナル	344	341	-	-
商標権(JT保有分)	293	293	10年	09年4月
特許権(JT保有分)	40	40	8年	07年4月
のれん <sup>(注)</sup>	10	8	20年	25年3月
ジャパンビハレックス				
のれん	2	3	5年	07年3月

(注): USGAAPにおける減損会計の導入により、2002年3月期をもって、JTインターナショナルにおける定期・定額ののれん償却は終了。以降は毎年、減損テストを行った上で、減損金額を決定している。

なお、2005年度より、国内たばこ事業セグメントに割り当てた当該のれんの一部について、20年で償却を開始した。

6. 資本的支出

(単位: 億円)

	06年3月期	07年3月期	増減
資本的支出	989	1,021	32
国内たばこ事業	750	552	△ 197
海外たばこ事業 <sup>(注)</sup>	249	320	70
医薬事業	21	30	9
食品事業	45	48	2
その他事業	193	80	△ 112

(注): 海外たばこ事業は、1-12月期の実績

7. 手元流動性<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月末	07年3月末	増減
手元流動性	9,796	11,856	2,060

(注): 手元流動性=現預金+有価証券+現先

8. 有利子負債<sup>(注)</sup>

(単位: 億円)

	06年3月末	07年3月末	増減
有利子負債	2,166	2,192	26

(注): 有利子負債=短期借入金+社債+長期借入金

9. 主な事業関連比率

【国内たばこ事業】	06年3月期	07年3月期	増減
JT販売数量 <sup>(注)</sup>	1,894	1,749	△ 145
国内総需要	2,852	2,699	△ 152
JT販売数量シェア	66.4%	64.8%	△ 1.6%pt
JT千本当税込売上高	11,674	12,371	697
JT千本当税抜売上高	3,864	3,990	126

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2006年3月期32億本、2007年3月期34億本。

【海外たばこ事業】	05年12月期	06年12月期	増減
販売数量	2,203	2,401	198
GFB販売数量	1,338	1,491	153
連結円ドルレート	110.26	116.38	6.12

【医薬事業】	06年3月期	07年3月期	増減
ピラセトロイリチ収入	50	41	△ 8
研究開発費(単体)	193	219	25

【食品事業-飲料事業】	06年3月末	07年3月末	増減
自動販売機台数 <sup>(注)</sup>	237,000	250,500	13,500
うちマーキング機	40,500	38,000	△ 2,500
うちコンビ機	61,500	66,000	4,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・フリップ等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いはながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10. 従業員数<sup>(注)</sup>

(単位: 人)

	06年3月末	07年3月末	増減
従業員数(連結)	31,476	33,428	1,952
国内たばこ事業	11,795	11,534	△ 261
海外たばこ事業	11,943	12,401	458
医薬事業	1,532	1,554	22
食品事業	5,232	7,084	1,852
その他事業	604	461	△ 143
全社共通業務	370	394	24
従業員数(単体)	8,855	8,930	75
在籍ベース従業員数(単体)	9,931	9,984	53

(注): 従業員数は就業人員ベース



2007年3月期 決算データ集 (2)

2008年3月期連結業績予想 (前期実績比較)

(単位: 億円)

	07年3月期 実績	08年3月期 見込	増減
税込売上高	47,693	48,900	1,206
除く輸入たばこ	35,531	36,610	1,078
EBITDA	4,646	4,490	△ 156
営業利益	3,319	3,120	△ 199
経常利益	3,120	2,820	△ 300
当期純利益	2,107	1,860	△ 247
ROE (株主資本利益率)	11.3%	9.3%	△ 2.0%pt
フリーキャッシュフロー(注)	2,230	△ 15,530	△ 17,760

(注): フリーキャッシュフロー=(営業活動CF+投資活動CF)但し、以下の項目を除外する。

営業活動CFから  
受取配当金/受取利息とその税影響額(42%)  
支払利息とその税影響額(42%)  
投資活動CFから  
有価証券取得による支出/有価証券売却による収入  
投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他  
上記の計算方式に従って計算したフリーキャッシュフローと表中のフリーキャッシュフローとの開差は  
投資有価証券の取得及び売却に含まれる事業投資株式によるもの。

(単位: 億円)

	07年3月期 実績	08年3月期 見込	増減
資本的支出	1,021	1,260	238
国内たばこ事業	552	640	87
海外たばこ事業	320	350	29
医薬事業	30	30	0
食品事業	48	65	16
その他事業	80	170	89

事業セグメント別業績予想

(単位: 億円)

	07年3月期 実績	08年3月期 見込	増減
税込売上高	47,693	48,900	1,206
国内たばこ事業	34,162	33,980	△ 182
除く輸入たばこ	22,000	21,690	△ 310
海外たばこ事業	9,996	11,300	1,303
医薬事業	454	440	△ 14
食品事業	2,865	2,980	114
EBITDA	4,646	4,490	△ 156
国内たばこ事業	3,264	3,000	△ 264
海外たばこ事業	1,126	1,270	143
医薬事業	△ 81	△ 115	△ 33
食品事業	120	125	4
営業利益	3,319	3,120	△ 199
国内たばこ事業	2,453	2,130	△ 323
海外たばこ事業	810	960	149
医薬事業	△ 112	△ 150	△ 37
食品事業	67	80	12

(単位: 円)

	07年3月期 実績	08年3月期 見込	増減
1株当り年間配当金	4,000	4,400	400
配当性向	18.2%	22.7%	4.5%pt

業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業

(単位: 億本)

	07年3月期 実績	08年3月期 見込	増減
販売数量	1,749	1,680	△ 69

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

海外たばこ事業

(単位: 億本、円)

	06年12月期 実績	07年12月期 見込	増減
販売数量	2,401	2,580	179
GFB販売数量	1,491	1,620	129
1USドル	116.38	115.00	△ 1.38

※2008年3月期の業績予想は、Gallaher社分を織り込まない数値(資金調達に関連する費用は織り込み済)

【当資料取扱上の注意点】

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができま(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

# 国内JT製品データ集

(注1): 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

(注2): 従来ベース: JTオリジナルブランド + 2005年4月末までのマールポロ + 2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

新ベース: JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)

## 国内たばこ事業関連係数

### 1. 四半期別販売数量

(単位: 億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	542	556	556	477	2,132
2005年度	505	485	481	422	1,894
2006年度	540	368	446	393	1,749

(注): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 2. 四半期別定価代金

(単位: 億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	7,480	7,670	7,675	6,589	29,416
2005年度	6,947	6,642	6,582	5,780	25,952
2006年度	7,403	5,475	6,646	5,870	25,395

(注1): 販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 3. 四半期別千本当売上高

(単位: 円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11,754	11,755	11,752	11,765	11,756
2005年度	11,715	11,653	11,657	11,667	11,674
2006年度	11,663	12,677	12,688	12,699	12,371

(注1): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

(注2): 上記の数値には、2005年4月末までのマールポロ販売数量及び2005年5月以降のJTIの国内向け製品(キャメル・ウィンストン・セーラム等)の販売数量を含みます。

### 4. 四半期別千本当税抜売上高

(単位: 円)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,940	3,942	3,937	3,946	3,941
2005年度	3,901	3,845	3,849	3,857	3,864
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	3,844	3,844	3,840	3,845	3,843
2005年度	3,845	3,846	3,849	3,857	3,849
2006年度	3,852	4,050	4,050	4,056	3,990

(注): 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。

千本当税抜売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

### 5. 四半期別シェア

(単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	73.0	73.0	72.7	72.7	72.9
2005年度	69.6	65.4	65.3	65.2	66.4
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	66.7	66.6	66.4	66.1	66.5
2005年度	66.1	65.5	65.3	65.2	65.5
2006年度	65.5	64.2	64.7	64.5	64.8

## 伸張セグメントシェア

### 1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.3	8.2	8.6	8.9	8.5
2005年度	10.6	11.7	12.2	12.5	11.7
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	10.4	10.3	10.7	11.1	10.6
2005年度	11.3	11.7	12.2	12.5	11.9
2006年度	12.4	12.5	13.3	13.6	12.9

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	47.5	46.9	47.3	47.5
2005年度	55.7	60.4	60.8	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	59.6	58.6	59.0	59.4
2005年度	59.7	60.4	60.8	61.6
2006年度	61.3	60.9	62.4	62.2

### 2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	8.6	8.6	9.0	9.3	8.9
2005年度	8.1	6.5	6.6	6.7	7.0
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.6	5.5	5.8	6.1	5.7
2005年度	6.3	6.5	6.6	6.7	6.5
2006年度	6.7	6.9	6.7	7.1	6.8

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	51.7	51.1	52.0	52.5
2005年度	45.1	34.4	34.9	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	33.2	32.4	33.8	34.4
2005年度	34.7	34.4	34.9	35.1
2006年度	35.0	34.1	33.8	34.8

### 3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

①JT 320円以上製品市場シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	11.7	11.8	11.5	12.1	11.8
2005年度	8.8	5.1	5.4	5.9	6.3
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	5.0	5.1	4.8	5.1	5.0
2005年度	5.1	5.2	5.4	5.9	5.4
2006年度	5.7	5.4	5.2	5.5	5.5

②セグメント内シェア (単位: %)

従来ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	53.9	53.8	52.8	53.6
2005年度	39.1	22.2	23.1	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2
新ベース	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
2004年度	23.2	23.0	22.2	22.8
2005年度	22.6	22.3	23.2	24.5
2006年度	24.3	22.5	22.6	23.2

\* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

### 4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位: %)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2004年度	0.91	0.95	0.90	0.94	0.93
2005年度	0.91	1.24	1.78	3.12	1.72
2006年度	4.12	3.84	3.85	4.34	4.04

\* ピアニッシモ及びプレミアは2006年3月より、バヴェル・フレアは2006年12月より、

D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目 (2007年4月27日現在)

開発名	開発段階	適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内: Phase1	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内: Phase2 海外: Phase2	高脂血症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内: Phase1	HIV	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外: Phase2	脂質代謝異常	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内: Phase2 海外: Phase1	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感知受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内: Phase1 海外: Phase1	2型糖尿病	PTP1B (チロシン脱リン酸化酵素1B) 阻害	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内: Phase1	高尿酸血症	URAT1 (尿酸トランスポーター1) 阻害	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回 (2007年2月8日) 公表時からの変更点: JTT-302 海外臨床試験 Phase1からPhase2へ移行